第二編の利用に当たって

1　第二編は、令和６年度に医療費の給付を行った、児童生徒等の災害発生件数（負傷・疾病の件数）について、災害傾向を把握するために、学校種別に負傷・疾病の発生の概況と帳票を掲載した。

なお、災害のうち死亡及び障害事例については、第一編に掲載した。

2　構成は、「概況（総括・分類別割合）」「帳票」となっている。

3　帳票は５種類で、帳票の表し方は、「帳票番号－学校種番号」とし、項目については、学校種別に、学年／年齢、性別、災害発生の場合、負傷した場所、月、曜日、時間帯、負傷・疾病の種類、体育用具・遊具別、運動種目、体育的部活動とした。

ただし、帳票１においては、帳票の表し方が異なる。

（１）帳票の構成

■帳票番号別構成

帳票番号	内容
帳票１	負傷・疾病（男女別） （１）場合別、学年／年齢別（２）場所別、学年／年齢別 （３）体育用具・遊具別、学年／年齢別
帳票２	負傷・疾病の月別、曜日別、時間帯別
帳票３	場合別、負傷・疾病の種類別
帳票４	負傷・疾病（種類別） （１）運動種目別、負傷・疾病の種類別 （２）体育的部活動別、負傷・疾病の種類別
帳票５	運動種目別、体育的活動時の場合別

（２）学校種

基本的には、第一編と同様。ただし、特別支援学校の幼稚部、小学部、中学部、高等部はそれぞれの学校種に振り分けて集計した。

■学校種番号

1	小学校	2	中学校	3	高等学校等	4	高等専門学校
5	幼稚園	6	幼保連携型認定こども園			7	保育所等

※　高等専門学校における学年別で５年６か月は５年とし、専攻科は６年とする。

4　本編で使用している用語の中には、一般的でないものもあるが、次のような意味で使用している。

（1）災害発生の場合の分類

①　特別活動としての「クラブ活動」と、課外活動としての「部活動」は区別できるものは分類した。

②　高等専門学校の各科目は、高等学校等と同様に「各教科等」と表現した。

③　高等専門学校の「特別活動」は学生会活動、クラブ活動、学級活動、学校行事等に分類した。

（2）負傷・疾病の種類について（医療機関が記載した傷病名によって集計した。）

①　負傷の種類

挫　傷：種々の程度の鈍力によって、生体組織が圧縮されて起こる外傷であり、「打撲」と区別がつけにくいので、両者を併せて、「挫傷・打撲」とした。

挫　創：鈍器又は種々の鈍力が作用して生じた皮膚・皮下組織の損傷で、開放創をなすもの。

②　負傷の部位

前額部：解剖学的には頭部に分類されるが、一般的に顔として扱われることが多いので、本書では顔部に含めた。

③疾病の種類

ア　負傷に起因する疾病

学校等の管理下において発生した事故で、負傷に起因することが明らかなものをいう。例えば、体育授業中に起きた捻挫、打撲傷等に起因する関節炎など。

イ　外部衝撃に起因する疾病

「外部衝撃」とは、水（温度、圧力を含む）、音、光、その他の外部要因による身体的又は精神的な衝撃をいう。例えば、号砲用ピストルなどの爆発音、その他強圧力による耳の疾病など。

ウ　運動に起因する疾病

「急激な運動」とは、運動の種類を問わず、急激な動作の伴う運動をいう。例えば、陸上運動、ボール運動などの急激な運動によって発症したものと認められる筋、腱、骨、関節の疾病などである。さらに、「相当の運動量を伴う運動（相当の負荷が身体に加わる運動）に起因する疾病」を含めた。

エ　心身の負担の累積に起因する疾病

「心身に対する負担の累積」とは、精神的又は身体的な負担が積み重なる状態をいう。例えば、儀式等において、長時間起立しあるいは暑熱の中にあったため、発生したものと認められる脳貧血あるいは起立性調節機能障害などである。

オ　異物の嚥下・迷入

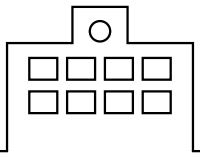
「異物の嚥下及びこれらに起因する疾病」とは、次のようなものをいう。

（ア）　気道及び消化管を閉鎖するおそれのある消しゴムなど（食物及び食物の逆吐物を含む。）の嚥下（嚥下機能に障害を持つ者が給食などを摂取中に誤嚥した場合を含む。）及びこれによる疾病。

（イ）　気道及び消化管を損傷するおそれのある針、くぎなどの嚥下及びこれによる疾病。

（ウ）　気道及び消化管を損傷し、あるいは消化管からの吸収によって中毒を起こすおそれのある絵の具、インク、薬物などの嚥下及びこれによる疾病。

　例えば、耳及び鼻への消しゴム、小石、豆、ビー玉、昆虫などの異物の迷入及びこれによる疾病などである。



概　　況
（総括・分類別割合）

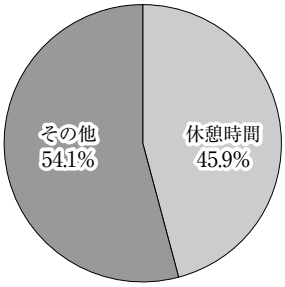
本統計の概況は、ここ数年の傾向と比べて大きな変化はない。

詳細は次の通りである。

1 総　括

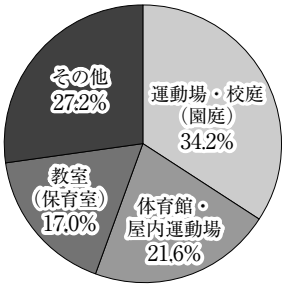
（1）小学校

図 1　　場合別



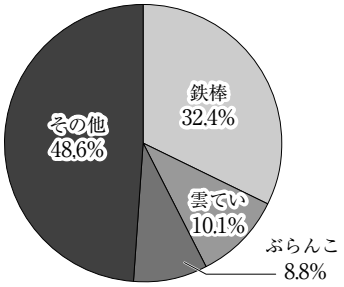
「休憩時間」に最も多く発生し、全体の約半数を占めている。

図 2　　場所別



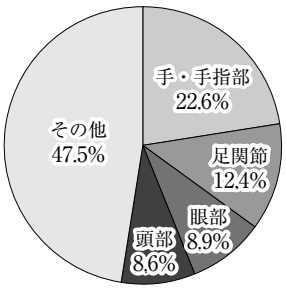
「運動場・校庭」が最も多く、次いで「体育館・屋内運動場」、「教室」が多い。

図 3　　体育用具・遊具別



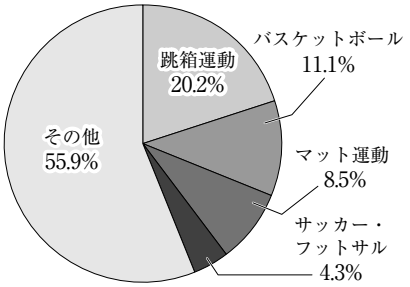
「鉄棒」が最も多く、次いで「雲てい」、「ぶらんこ」が多い。

図 4　　部位別



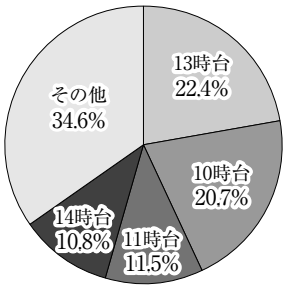
「手・手指部」が最も多く、次いで「足関節」、「眼部」、「頭部」が多い。

図 5　　運動種目別



「跳箱運動」が最も多く、次いで「バスケットボール」、「マット運動」、「サッカー・フットサル」での発生が多い。

図 6　　時間帯別

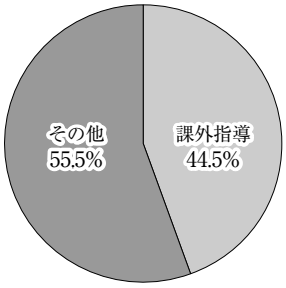


「13時台」、「10時台」に多く発生している。次いで「11時台」、「14時台」の発生が多い。

※小数点第二位を四捨五入しており、合計が100%にならない場合がある。

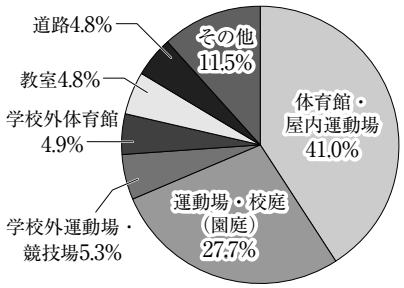
（2）中学校

図7　場合別



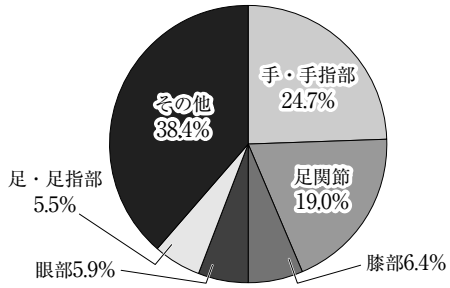
「課外指導」中に最も多く発生している。「課外指導」のほとんどは「体育的部活動」によるものである。

図8　場所別



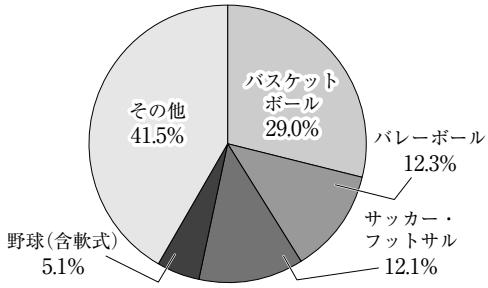
「体育館・屋内運動場」、「運動場・校庭」に多く発生している。次いで「学校外運動場・競技場」、「学校外体育館」、「教室」、「道路」が多い。

図9　部位別



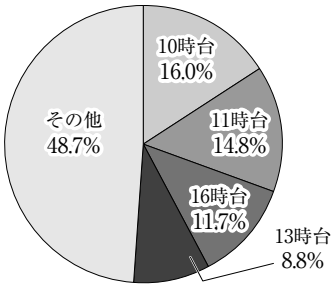
「手・手指部」が最も多く、次いで「足関節」、「膝部」、「眼部」、「足・足指部」が多くなっている。

図10　運動種目別



球技中のけがが全体の7割以上を占めている。内訳は「バスケットボール」、「バレーボール」、「サッカー・フットサル」、「野球（含軟式）」の順で多い。

図11　時間帯別

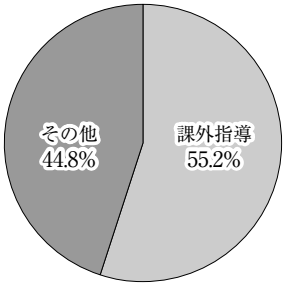


「10時台」、「11時台」に多く発生している。次いで「16時台」、「13時台」の発生が多い。

※小数点第二位を四捨五入しており、合計が100％にならない場合がある。

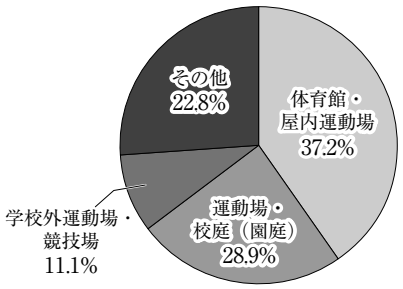
（3）高等学校等・高等専門学校

図12　　場合別



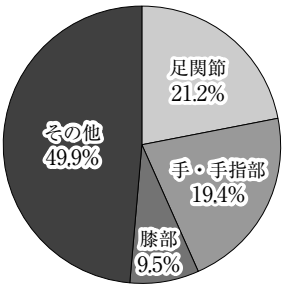
「課外指導」中に最も多く発生している。「課外指導」のほとんどが「体育的部活動」によるものである。

図13　　場所別



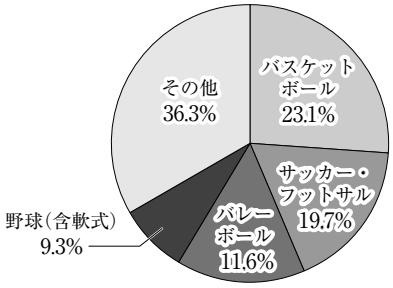
「体育館・屋内運動場」と「運動場・校庭」で、全体の約 6 割以上を占めている。

図14　　部位別



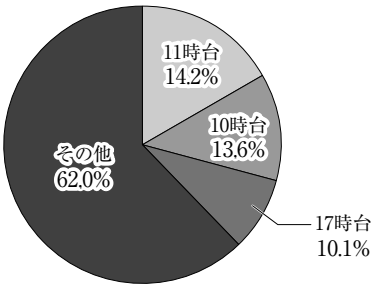
「足関節」、「手・手指部」の発生が多い。部位のうち大項目で見ると「下肢部」が全体の 4 割を超え、最も多い。

図15　　運動種目別



球技中のけがが全体の 8 割以上を占めている。内訳は、「バスケットボール」で最も多く発生している。次いで「サッカー・フットサル」、「バレーボール」、「野球（含軟式）」の順である。

図16　　時間帯別

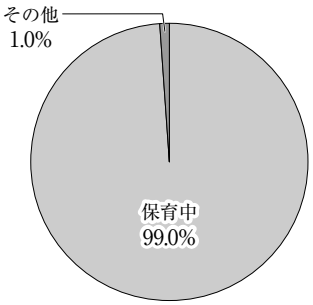


高等学校等では、「11時台」に多く、次いで「10時台」「17時台」に多く発生している。
高等専門学校では、「11時台」に多く、次いで「10時台」「14時台」に多く発生している。

※小数点第二位を四捨五入しており、合計が100%にならない場合がある。

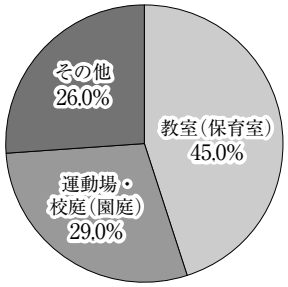
（4）幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等

図17　場合別



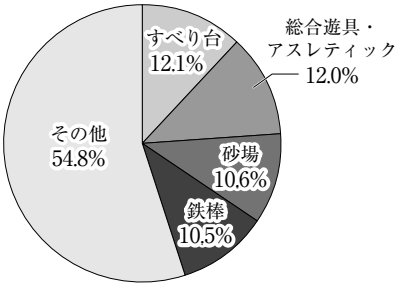
幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等いずれもほとんどが「保育中」に発生している。

図18　場所別



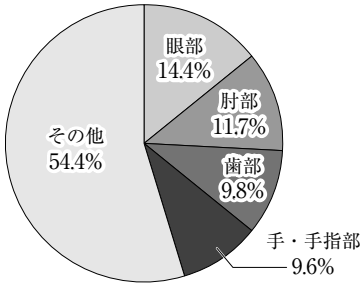
幼稚園では「運動場・園庭」で、幼保連携型認定こども園・保育所等では「保保育室」で最も多く発生している。

図19　体育用具・遊具別



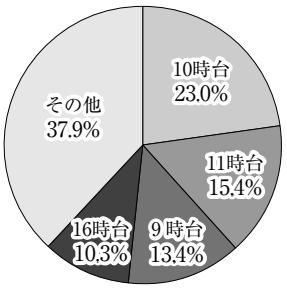
「すべり台」、「総合遊具・アスレティック」に多く発生している。次いで「砂場」、「鉄棒」の発生が多い。

図20　部位別



「眼部」に最も多く、次いで「肘部」、「歯部」、「手・手指部」が多い。
部位のうち大項目で見ると、「頭部」及び「顔部」で全体の約５割を占めている。

図21　時間帯別



幼稚園では「10時台」、「13時台」、「11時台」に発生が多く見られる。
幼保連携型認定こども園では「10時台」、「11時台」、「９時台」に発生が多く見られる。
保育所等では「10時台」とその前後に最も多く発生し、次いで「16時台」でも発生が多く見られる。

※小数点第二位を四捨五入しており、合計が100％にならない場合がある。

2 分類別割合

（1）負傷・疾病における場合別発生割合

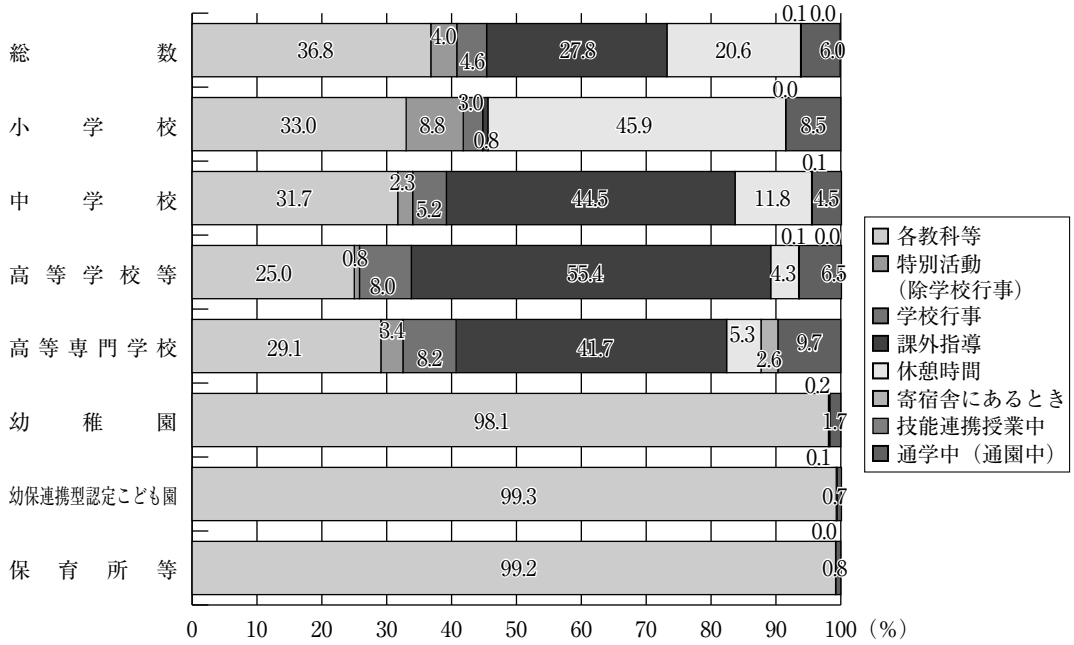


図１　場合別発生割合

※小数点第二位を四捨五入しており、合計が100%とならない場合がある。

表１　場合別発生件数

単位：件

	各教科等	特別活動（除学校行事）	学校行事	課外指導	休憩時間	寄宿舎にあるとき	技能連携授業中	通学中（通園中）	合計
総数	283,889	30,600	35,766	214,216	158,866	605	10	46,509	770,461
小学校	88,258	23,624	8,118	2,016	122,582	44	－	22,581	267,223
中学校	75,505	5,432	12,271	105,819	28,036	192	－	10,706	237,961
高等学校等	47,684	1,484	15,232	105,645	8,155	273	10	12,384	190,867
高等専門学校	514	60	145	736	93	46	－	172	1,766
幼稚園	12,025	－	－	－	－	19	－	209	12,253
幼保連携型認定こども園	19,383	－	－	－	－	11	－	131	19,525
保育所等	40,520	－	－	－	－	20	－	326	40,866

（2）負傷・疾病における種類別発生割合

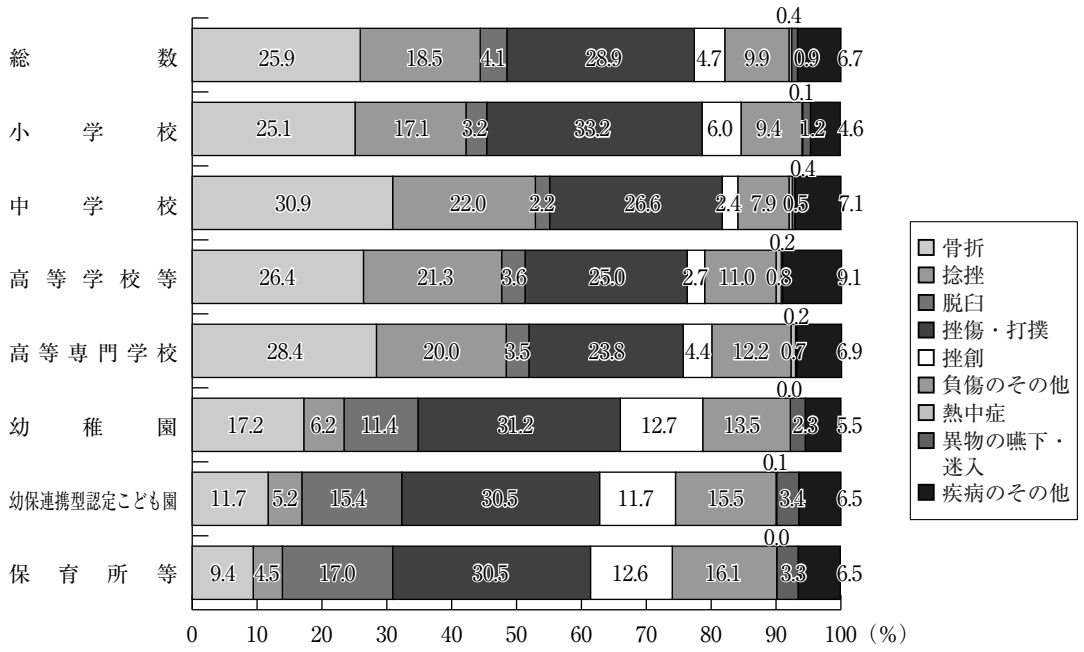


図２　種類別発生割合

※小数点第二位を四捨五入しており、合計が100％とならない場合がある。

表２　種類別発生件数

単位：件

	負傷						疾病			合計
	骨折	捻挫	脱臼	挫傷・打撲	挫創	負傷のその他	熱中症	異物の嚥下・迷入	疾病のその他	
総数	199,869	142,479	31,966	222,330	36,255	76,346	3,001	6,889	51,326	770,461
小学校	67,151	45,600	8,525	88,718	16,161	25,046	339	3,312	12,371	267,223
中学校	73,597	52,256	5,156	63,271	5,789	18,818	1,161	974	16,939	237,961
高等学校等	50,386	40,653	6,876	47,670	5,228	20,983	1,460	296	17,315	190,867
高等専門学校	501	354	61	421	77	215	12	4	121	1,766
幼稚園	2,102	758	1,401	3,822	1,551	1,656	5	281	677	12,253
幼保連携型認定こども園	2,282	1,015	3,010	5,963	2,289	3,036	12	656	1,262	19,525
保育所等	3,850	1,843	6,937	12,465	5,160	6,592	12	1,366	2,641	40,866

（3）負傷・疾病における部位別発生割合

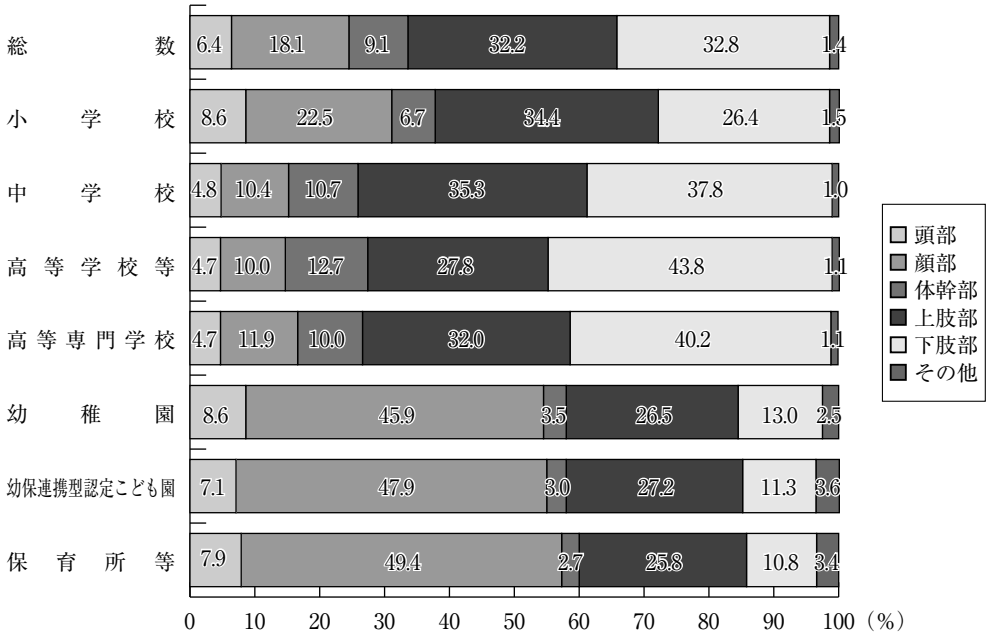


図３　部位別発生割合

※小数点第二位を四捨五入しており、合計が100%とならない場合がある。

表３　部位別発生件数

単位：件

	頭部	顔部	体幹部	上肢部	下肢部	その他	合計
総数	49,051	139,457	69,846	248,426	252,886	10,795	770,461
小学校	22,875	60,191	17,930	91,822	70,525	3,880	267,223
中学校	11,471	24,781	25,475	83,949	89,854	2,431	237,961
高等学校等	8,978	19,097	24,178	52,980	83,571	2,063	190,867
高等専門学校	83	211	176	566	710	20	1,766
幼稚園	1,050	5,627	427	3,246	1,595	308	12,253
幼保連携型認定こども園	1,380	9,349	576	5,320	2,205	695	19,525
保育所等	3,214	20,201	1,084	10,543	4,426	1,398	40,866